

手作りおもちゃ コンテスト 作品シート



エントリー番号	NO.42	チーム名	森と山の境目
対象年齢	1歳～		

・工夫した点・アピールポイント

私たちは「野菜がどのようにして作られているかが、わからない子どもが増えている」という話を聞き、遊びながら食育ができるよう、収穫キットを作りました。

★野菜

今回作った3種の野菜に共通していることは、音が鳴ることです。フェルトで作った野菜の中に、それぞれ「鳴きぶえ」「鈴」「ペットボトルのキャップで作ったマスカラ」が入っています。各音を、違う野菜にいれているため、音合わせをして楽しむこともできます。

★人参

ただ単に収穫するだけでは、飽きてしまうと考え、3つのうち1つだけ手足が生えているような特殊な人参を作りました。また、畑で採れる野菜は、お店で売っているような真っ直ぐな人参だけでないことも伝われば良いなと思い作りました。

★大根

3つのうち1つだけ収穫の際に折れてしまった大根を作りました。また、畑で大根を抜くときに折れてしまうこともあるということが、伝われば良いなと思いました。

★サツマイモ

サツマイモは、ツルにつけることができボタン付けの練習や紐通しが出来るよう工夫しました。また、いくつかツルから外れてしまったサツマイモと、虫に食べられているサツマイモを作りました。実際の収穫体験のようなワクワク感を味わえたらいいなと思っています。

★野菜カード

各野菜2つの「野菜カード」と1つの「特殊野菜カード」を作りました。各カードの中には、お菓子が入っていたトレーや、インスタントラーメンの袋といった廃材を入れ、音が出るように工夫しました。また、バリバリという音に反応した子どもが中を見ようとしたとき、一部のカードに、ある絵柄が透けて見える工夫をしています。音を鳴らすのもよし、光にかざして絵柄を見るのもよし、野菜畑にラベルとして差し込むもよし、カードを裏向けに絵合わせをするものよし、ババ抜きを練習をするものよし、お使いカードとして使うのもよし、シンプルなカードになっているので遊び方は無限大のカードです。

★箱

あえて、水色と黄色というポップな色にし、子どもたちが親しみやすいように工夫しました。フェルトで作った土を取り除くと、箱の中に3つの扉が現れます。扉の向こうには「モグラ」「幼虫」「ミミズ」といった畑の中にいる生き物が隠れています。何が隠れているかというワクワク感と、土の中に住んでいる生き物に触れるきっかけとなるように、実物と近くなるよう心がけました。